

特集序言

「ポリフェノール類の研究最前線」の 企画と編集にあたって

三宅 深雪・柿澤 恭史

(ライオン株式会社)

機能性成分である「ポリフェノール」は、植物性食品に含まれる健康維持・増進に欠かせない化学物質です。その代表的な機能は抗酸化能ですが、これまでに、生活習慣病予防、抗がん作用、免疫賦活作用、抗アレルギー作用、血流増進作用、認知症予防など、多くの生理機能に関わることが知られております。現在、一般消費者も含めて「抗酸化能をもつ物質は体にいい」というイメージが定着していますし、疲労やストレスの研究から血中の酸化度、抗酸化度が健康バロメーターのひとつとして扱われるようになって来ました。平成27年の機能性表示食品制度の開始もあいまって、ポリフェノール類の健康エビデンスがより話題になり、さらにポリフェノール高含有のスーパーフードにも注目が集まっています。そこで、本特集では、ポリフェノール類の機能やそのメカニズムの研究でご活躍されている先生方へ、最新の研究現状をご紹介していただくことにいたしました。神戸大学の山下陽子先生には、カカオポリフェノールの高血糖や脂肪蓄積の予防効果とその作用機能についてご紹介いただきました。また、農業・食品産業技術総合研究機構の小堀真珠子先生には、タマネギに含まれるケルセチンの健康機能について、徳島大学の河合慶親先生にはそのケルセチンの吸収・代謝物質の活性発現機構について、ご紹介していただきました。さらに、九州大学の藤村由紀先生には、緑茶ポリフェノールの生体内時空間分布の可視化への挑戦、鹿児島大学の侯徳輿先生には、ポリフェノール類の機能発現に関わる分子標識に関する研究をご紹介いただいております。

この本特集が読者の皆様にとって有益な情報となり、今後、益々目が離せない健康産業分野への視座の一助となれば幸いです。

最後に、本特集を企画するに当たり、この分野において著名な先生方をご紹介いただいた、甲南女子大学の寺尾純二先生、並びに、企画に賛同いただき、大変お忙しい中ご執筆いただきました先生方に、深く感謝と御礼を申し上げます。